

1・園の教育目標

1. 滝川幼稚園は、仏教精神(素直・仲良く・おもしろい)による保育を実践し、一人ひとりが健康で、友達と明るく仲良く生活でき 感性豊かな子どもに 育つことを目標としています。
2. 広々とした園庭で のびのびと遊び自然との関わりを大切にし 健康な身体と 豊かな感性をやしないます。
3. 自由保育を中心とし、年齢にふさわしい個々の育ちを大切に それぞれが自立する力を 育て生きる尊さを知らせます。

2・本年度に 定めた重点的に取り組む目標や計画

- ・健やかでのびのびとした保育を 行う。(コロナ禍においてこそ)

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園教育要領をふまえ	園の教育理念が日々の保育の中に 反映されるように計画をたて
園の教育理念・教育方針に従い	実践出来るように努力して取り組んでいる。
保育計画をしている。	教育要領をさらに深める事が、できる様に補助教材を用いて活用しているが、個人差があるので意識を高めていきたい。
教育要領・教育課程、子どもの実態などを もとに考えて作成している。	毎年の指導計画の見直し、学期ごとの反省を次に活かすことが出来るよう努めている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	日々の反省、学年チーフ会議、職員会議などで クラスの様子、保育の反省をし全職員が、子ども達の共通理解が出来るようにし 課題が生じれば、話し合い状況の改善に努める。
子ども達が、遊びを通して様々な事柄を体験し楽しめる広がりを持った保育が出来るようにしている。	子ども達が興味を持った遊びを発展し、年齢にふさわしい体験をできる様に努めている。子ども達の見取りをしっかりと行い その状況に似あった保育を進めていく様にする。
規則正しい生活習慣の定着に向けて指導を行う。	基本的な生活習慣は、日々の保育の中で衣服の着脱・うがい手洗い排泄は、もちろんの事、メリハリのある保育に心がけ、話を聞く時は、しっかりと きける様けじめを持った生活に気を付けている。
園内研修をする。	講師を招き 園内で公開保育を行った。 日々の反省の中で 研修となる事もある。
各研究会・研修会に積極的に参加し職員間で学び合う。	リモート研修・対面での研修などできる限り参加できる研修には、参加した。
園だよりや 合同研修会を通して幼稚園の情報を発信していく。	園の方針や取り組みは、園だよりやHP,FMで情報を発信している。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

コロナ禍の新しい生活習慣は、ほぼ定着している。  
遊びもコロナ禍の中で 充分遊びを確保できるように工夫してきており、行事に関しても分散などを取り入れ経験できる場を 出来るだけ失う事がない様にしてきた。分散型参観日も実施できた。  
職員間で、情報・意識をしっかりと共有されるようになっていく。

## 5. 今後取り組むべき課題

特別支援教育	インクルーシブをもとに支援の必要な園児の理解を測るとともに健常児との関わり合いや支援の必要な園児が、自己充実感を味わう保育の在り方を考える。 関係機関との連携をとりながら、協力体制をとっていく。
幼保小連携	コロナ禍の為、実際に園児が、小学校に出向いての交流は、無くなった。その代わり、小学校の施設をビデオで撮影し園児に視聴してもらうと同時に予め小学校に対しての質問を提出し答えてもらうという形で行った。教師間の交流については、コロナ禍で中止となった。
保育指導計画の立て方	長期スパンでの計画を立て 見通しを持って早めに計画実践を行うよう心掛けている。 子ども達の遊びの様子をみながら遊びが発展できるように計画を立てる。
保育者の資質向上	日々の反省を通し、また、現状を良しとしないでさらに向上が出来る様に意識して保育をしていく必要がある。

## 6. 学校関係者の評価

園児一人ひとりが、大きな声で明るく挨拶をしている幼稚園と感じました。コロナ禍では、ありましたが、運動会・発表会等の大きな行事も開催できただけでなく 令和4年度は、活動ステーションのお手伝いができ分散型参観日も参加でき親子共に充実していたと思います。

また、メールや YouTube を使って配信をいただき保護者への配慮に感謝いたします。

職員皆様一人ひとりが園児をしっかり見てくれていると 普段の会話から感じられとても安心しております。

令和4年度 後援会長 須田悠斗

## 7. 財務状況

公認会計士監査より 適正に運営されていると考える。